

# 日本社会が選ばれるための課題とは？

～ 外国人のライフプランからの視点 ～

外国人材の受入れに関する円卓会議

「選ばれる国になるための新たな戦略」公開シンポジウム

2022年02月14日

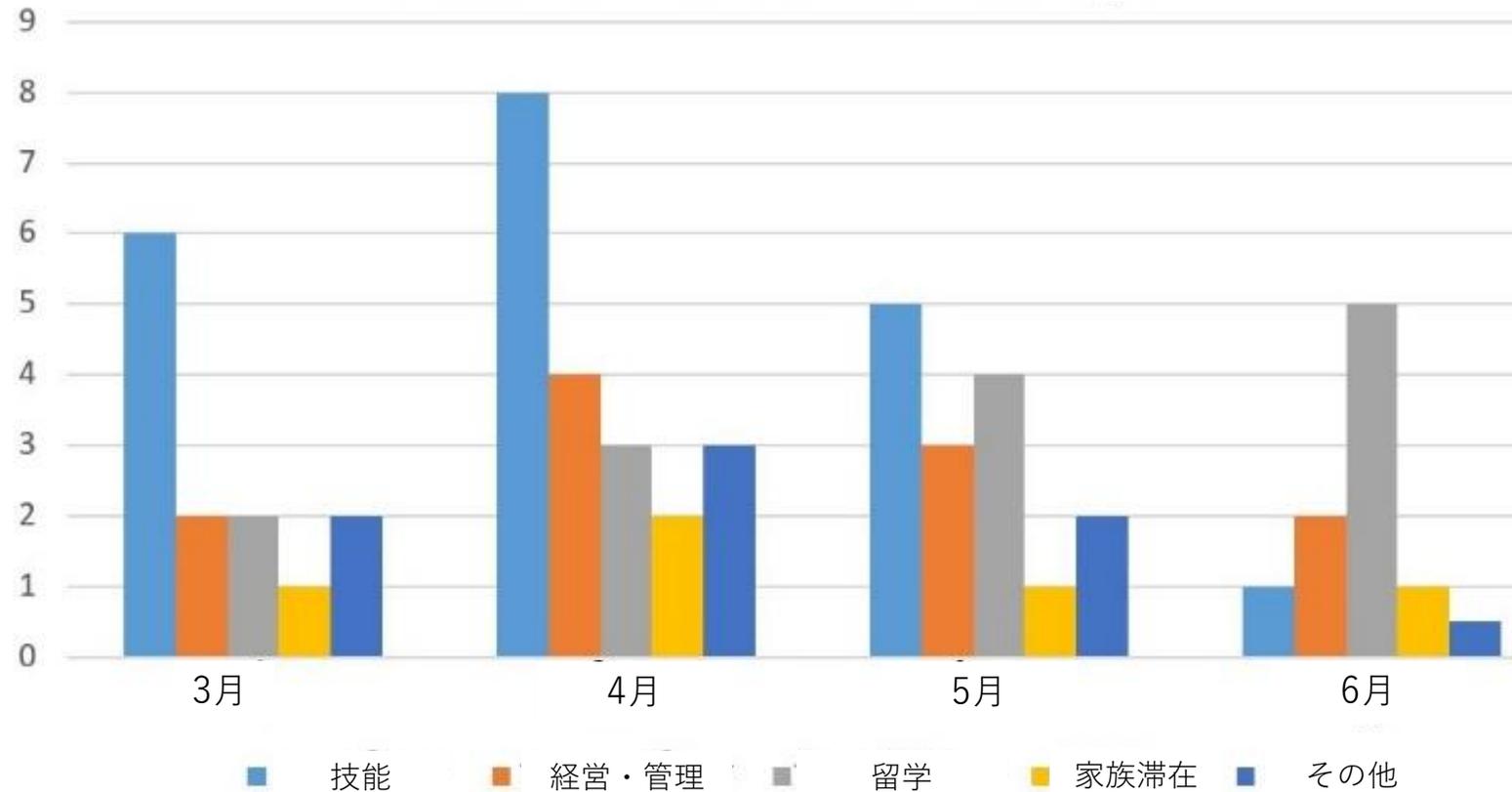
シュレスタ・ブパール・マン

エベレスト・インターナショナル・スクール・ジャパン、顧問理事

# コロナ禍における留学生の問題

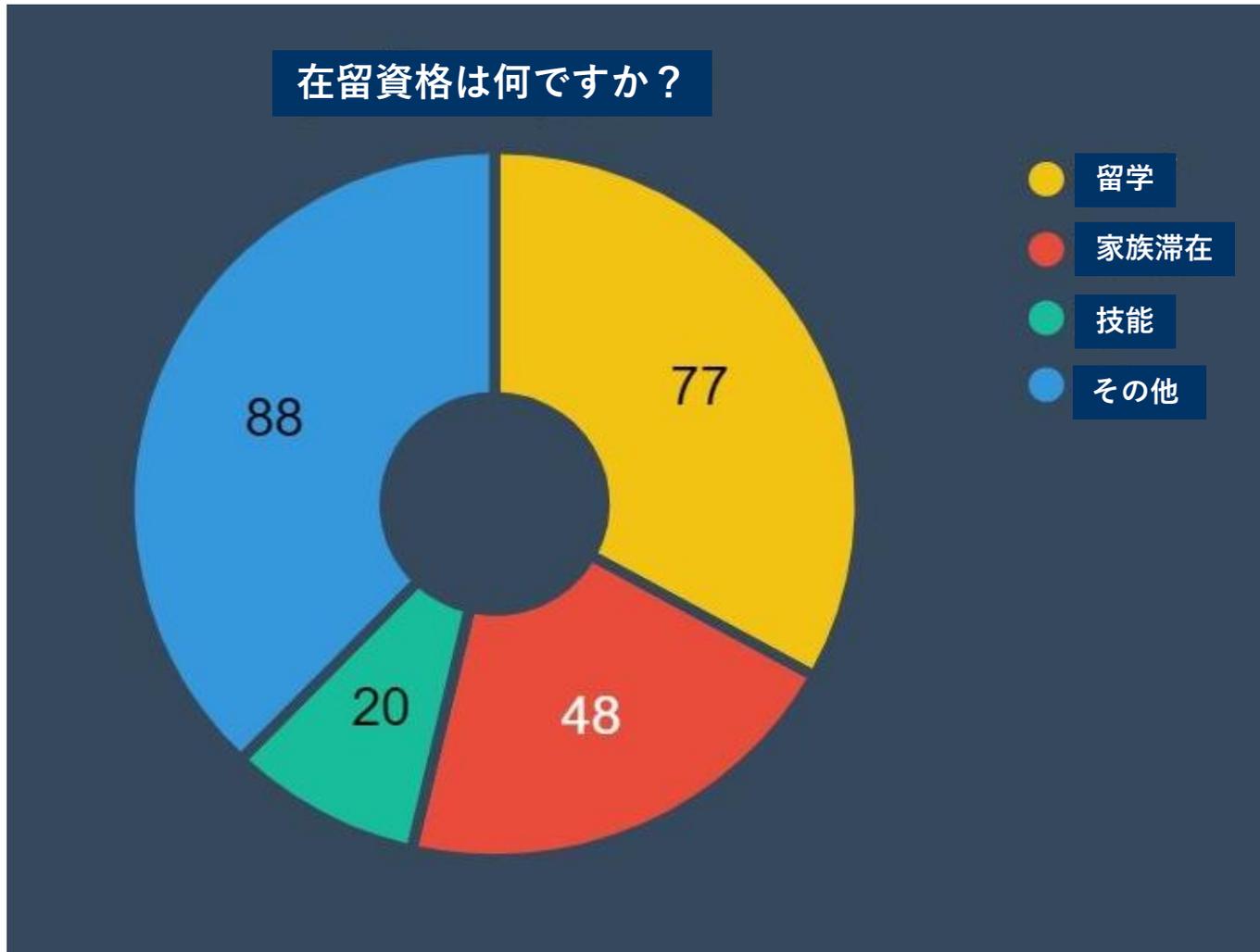
- 大学・専門学校卒業して就職のために内定・入社決まっても入社ができなかった。
- 経済的な問題：
  - ①進学を決めた学生が学費を支払い、貯金がなかった。
  - ②在留資格の更新ができなかった学生は帰国のために航空券や買い物をして貯金がなくなった。
  - ③母国からの仕送りやアルバイトが無くなり、学費を払えなくなって退学した・させたケースもあった。
  - ④オーバーワークの理由で在留資格の更新が認められなかった留学生が帰国もできなかった。

# 支援を求める人たち（在留資格別）



出所：「ネパールコミュニティ-COVID-19緊急支援委員会のレポート」2020年12月

# 仕事の支援を求める人たち（在留資格別）



出所：「ネパールコミュニティ-COVID-19緊急支援委員会のレポート」2020年12月

# 在日外国人の課題

- **初期**：言葉の壁、アルバイト、屋探し、銀行口座の開設、携帯電話の契約、情報不足によるトラブルや諸問題など
- **中期**：言葉の壁、就職、子供の教育
- **後期・長期**：言葉の壁、住宅ローンのために永住権、コミュニティ統合、定住化に困難

# 選ばれる国になるのために

## 政府・自治体：

- 外国人を労働者だけではなく、住民として考える。
- 外国人向けの日本語教育の普及と同時に情報の多言語化
- 外国人特有の短期・長期的な政策を無くす  
(例：コロナ禍における入国制限など)

## 日本社会：

- 外国人の受け皿になるための準備
- グローバル化に向けて一層オープン化
- 「心のグローバル化」が必要

# 選ばれる国になるために

- 言葉の壁を無くす
- 留学生として来日したい外国人に日本の教育制度の良さや魅力をつたえ、そのとおりの制度設計をする。
- 留学生が一般労働者としてではなく、学習者・研究者として捉え、高度人材として育成する。
- IT人材など技術者の受入れに日本語の壁が大きいため、それを配慮する。
- 特定技能などの労働者の受け入れに労働者の視点も配慮する。  
(例：家族の帯同、生活の安定化、定住するための環境など)
- 特定技能人材として日本での経験者を優先に受け入れる。
- 前述の様々な課題の解決に向けて政策を作る。